

・人 広報



謹賀新年



組合員皆様のご健勝とご多幸を

お祈りいたします

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます

1 月号

NO.699



新年あいさつ

伊達市農業協同組合

代表理事組合長 佐藤 哲

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方にはご家族共々に新年を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。また、昨年一年間、農協事業運営に対し、ご指導と御協力、ご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます次第です。

昨年も天候に恵まれず、特に7月の高温早魃、9月以降の天候不順により作物によっては暴騰、暴落を繰り返し、更に収量が激減、廃耕もあり営農収支が全体として一昨年より悪化しています。ただ、3年続く、今までにない高温と天候不順・病害虫に的確に対応し収益向上に繋げておられる組合員さんも多数おられ、心強い限りです。農協としても、今年の営農に繋げるために有利な資金対応や営農のお手伝いを出来る限り進めてまいりますのでよろしくをお願いします。更に、ここ数年個人では対応しきれない獣害が発生しております。特に、エゾシカの被害は年々増加し電気柵では防ぎきれない地区も出てきています。アライグマ・カラ

スの被害も無視できるものではありません。仲間と歩調を合わせ国に効果的な獣害対策を要請してまいります。

また、収支改善が急がれる生活店舗事業については依然として単体での事業利益確保は厳しい状況にあります。あらゆる選択肢を排除せず利益確保に努めてまいります。販売事業の青果は昨年度異常気象の影響を強く受けた部門です。組合員さんとの会話を重ね組合員さんの利益確保と青果事業の利用促進を強く進めてまいります。

今年も厳しい状況が続くと思われます信用事業、共済事業を含め販売、購買、営農事業等各農協事業は組合員にとって無くてはならない事業と考え、組合員さんの付託に答えられるように役職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも組合員の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げますと共に、どうか新しい年が組合員の皆様にとって最良の年でありますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年



副組合長
松本 喬一



理 事
永田 聡



理 事
舟迫 昌光



理 事
唐澤 健康



理 事
上野 正人



理 事
原 一晴



理 事
近井 一夫



理事(学識経験)
上田 孝弘



理事(学識経験)
大友 敏幸



監 事
森田 浩行



監事(員外)
山崎 博司





年頭のごあいさつ

伊達市農業協同組合

代表監事 菅 原 俊 和

令和八年の新春を迎えるにあたり、組合員の皆様には健やかに年頭を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。昨年も記録的な高温や降雨の偏りが続き、伊達市の農業にとって、近年稀にみる試練の多い一年となりました。特に野菜に於いては、生産量の著しい落込みに関わらず、販売金額も伸びないという過去に経験した事のない状況に見舞われました。その中で、トマト、ピーマンなどの施設野菜が高値で推移した事は大変喜ばしい事でした。

この様に気候変動の影響は年々大きくなり、従来の栽培方法や出荷体制だけでは対応が難しい局面も見え始めています。農業資材の高止まり、担い手不足、技術継承の課題など、地域農業の持続性を左右する重要なテーマにも真剣に向き合う必要性が増々高まって来ている様に感じます。今後は長和地区、関内地区で進められている国営の基盤整備事業も含

め伊達の農業の未来を見据え、若い世代が魅力を感じる農業の姿を示していくことも農協の大切な役割だと考えております。

しかし、農協が経済団体である以上、健全な経営基盤があり、安定した利益が必要です。残念ながら、当農協は農協法に定められた収益部門のうち、生活部門、青果部門が大きく利益を落とし、農協経営に於ける一番大きな懸念材料になっています。組合員の皆さんの積極的な利用、ご協力が絶対に欠かせません。組合員の皆さん、役職員が一つになり、厳しい時代を切り抜けて行きましょう。

監事会としては健全な経営管理と公正なチェック機能を徹底し、組合員の皆様が安心して営農に取り組める体制づくりに努めてまいります。どうか本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。





年頭のご挨拶

胆振農業改良普及センター

所 長 八 田 洋

謹んで新春をお祝い申し上げます。伊達市農業協同組合の組合員・御家族、役職員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より普及センターの活動に御協力、ご支援を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、シーズンを通しての農作業が一区切りついたのも束の間、来月からは早々に次年度の営農に向けての準備が開始されることと思います。

昨年度を振り返りますと、令和5年の記録的猛暑に匹敵するような気温で経過しました。畜産では牛舎の暑熱対策、飼養管理、耕種では肥培管理全般において、めまぐるしく変化する気象要因を予測し、臨機応変な駆け引きが強いられる場面も多かったのではないのでしょうか？言い換えれば皆様の技術力が発揮され、活かされた年であったと認識しております。ただ、特に葉菜類などは、現場で考え得る手を尽くしても苦戦を強いられ、今後、耐暑性の品種の導入なども視野に入れる必要性を痛感しているところであります。

普及センターでは現地試験についての成績のまとめが完了したところであります。普及性のあるものは皆様方に何らかの形で報告させて頂くことになると思います。なかでも暑熱対策、省力化、低コスト化などは今日的な題材として粘り強く取り組むべき課題と認識しております。

外に目を向けますと、自国ファーストを掲げ、安易に暴力に頼るリーダーが増えており、ここ数年、我が国へのしわ寄せ、影響について予想がつかない状況にあります。営農への影響も然りで、すでに資材高騰など多岐にわたって弊害を被っております。しかしな

がら、このような時こそ、最後に立ち戻る原点は基本技術で、これは時代を通して変わらないのではないのでしょうか。ものづくりに妥協がない国民性は農業にも脈々と受け継がれていると強く認識しております。普及センターは技術機関でありますので、皆様方にご活用頂いてこそ、存在価値がでてくるものと考えております。どうぞお気軽にご利用いただければと願っております。

結びになりますが本年が皆様にとって益々御健勝で実り多い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



昨年中は格別なるお引き立てを頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

尚、本年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。職員一同



登別支所

《内部監査室》
《事業推進室》

生活課

農機燃料自動車課

生産資材課

《購買部》

畜産課・営農指導課

生産販売課

《営農生産部》

共済課

金融課

《信用部》

総務課・審査課

《総務部》



令和8年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽 井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対し、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

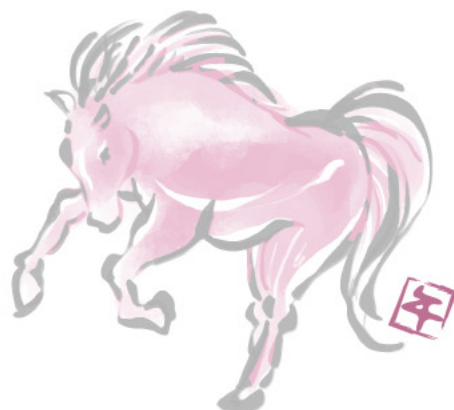
この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のと

れた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



■ 税務講習会開催

12月5日(金)、伊達市農業青色申告会では令和7年度の税務講習会をJA伊達市本所で開催しました。講師には税理士法人松井一晃事務所より中尾佳浩税理士をお招きし、昨今の税務調査の動向や、暮らしに役立つ税の仕組み、昨年12月に改正となった所得税の基礎控除・給与所得控除の見直し、特定親族特別控除の創設等についての説明がありました。講習会には約35名の会員が出席し、会員からは税務調査についてなどの質問が寄せられていました。



講習会のようす

年金友の会



■ 年金友の会忘年会

12月11日(木)~12日(金)、年金友の会では洞爺サンパレス・リゾート & スパにて忘年会を開催しました。1年を締めくくる忘年会には令和7年度の新会員を含む会員22名が参加。気心知れた仲間たちと夕食ビュッフェを堪能した後、全員に景品が当たるビンゴ大会を行い大いに盛り上がりました。また、年金友の会では新規会員の募集を随時行っています。パークゴルフやゲートボール、秋の旅行などの行事がありますのでご興味のある方は信用部金融課までぜひお問い合わせください。



夕食会場でのようす

■ 伊達市へ お米とさつまいもを寄贈

12月11日(木)、JA伊達市では伊達産「ななつぼし」100kgと伊達産さつまいも「紅はるか」50kgを伊達市へ寄贈しました。寄贈したお米は食育センターにて学校給食へ、さつまいもは市内保育所・幼稚園にて使用され市内の子どもたちの為に活用されるとのことです。堀井市長からは感謝状が贈呈され感謝の言葉が述べられました。



寄贈のようす

■ 伊達市農協青年部創立 70 周年記念式典

12月12日(金)、伊達市農協青年部は創立70周年を記念し、ホテルDATTELにて記念式典を開催しました。式典には歴代部員を始め歴代事務局、市やJAの関係者ら約50名が出席し、節目を祝いました。式典では栗橋部長より創立50周年以降の歴代部長及び歴代事務局に感謝状が贈られた後、大和田理事による活動実績の発表が行われました。その後酪農学園大学の正木准教授による記念講演が行われ、「農村再生と農協青年部の役割」と題して貴重なお話を聞くことが出来ました。その後は祝賀会が開かれ、余興を交え盛会のうちに幕を閉じました。



栗橋部長による式辞



現部員による集合写真

感謝状贈呈者（創立50周年以降の歴代部長・事務局）

〈歴代部長〉

第49代 片平 寿彦
第50代 荒 慎一
第51代 堀籠 司
第52代 刑部 平次
第53代 白石 浩一
第54～56代 太細 知彦
第57代 前田 幸彦

第58代 森 安彦
第59代 熊澤 太一
第60代 八木沼剛宏
第61～62代 上野 真吾
第63～65代 坂元 博行
第66～68代 廣瀬 将大

〈歴代事務局〉

平成18～20年 原口 政宏
平成21～22年 高橋 功次
平成23年 岩崎 隆二
平成24年 吉田 秀治
平成25～27年 山本 新一(故)
平成28年 中田 隆之
平成29～令和4年 高橋 孝一



歴代部長への感謝状贈呈



大和田理事による実績発表



余興はさつまいも重量当てゲーム

JA女性部



■ クラフトテープのバッグ制作

12月15日(月)と23日(火)の二日間にかけて、JA伊達市女性部ホビークラブではクラフトテープのバッグ作りを行いました。女性部員でもある廣瀬礼子さんを講師に、部員8名が試行錯誤しながらバッグを作成しました。参加した部員からは、「集中して作業にあたることができ楽しかった!」と声が上がっていました。

また同会場では部員6名による雑巾制作も行われ、市内の小中学校へ届けられる雑巾を1枚1枚丁寧に縫い合わせていました。



制作のようす

■ 農事組合長会議

12月16日(火)、令和7年度農事組合長会議がJA伊達市本所にて開催され、各地区の連絡協議会会長及び農事組合長らが集まりました。佐藤組合長、堀井市長の挨拶に続いて八田普及センター所長からは、令和7年度の農作物等の作況が発表され、北海道糖業株式会社の坂本原料課長からは今年度のてん菜の出来高や今後の製糖予定についてなどが話されました。協議事項としては、令和7年度の農協事業推移や決算見込み、地域農業振興計画及びJA中期経営計画の取り組みについて、麦

乾施設の精米機更新についてなどが報告されました。



農事組合長会議のようす

■ 野菜生産部会協議会及び各部会定期総会

12月17日(水)、伊達市農協野菜生産部会協議会及び各部会の定期総会がホテルダッテルにて開催されました。令和7年度は、4月の定植時期の降雨にはじまり5月の早魃による圃場の状況悪化、6月以降高温・早魃状況が続く8月には病害虫の被害によって品質悪化や収量に大きく影響があり、最終的に前年比数量、金額共に87%となりました。次年度においては、第9次振興計画の重点品目を中心とした野菜全般の取扱いを確保する為に、各部会気候変動に対処すべく新たな試験種の取り

組みや、栽培方法の再検討等関係機関との連携を図り取扱い数量の確保と継続出荷を目指すとしました。



湘南野菜・ほうれん草部会総会のようす

JAへの就職希望者100%就職内定

(令和7年度実績)

令和8年度入学生第3回募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年●寮完備(個室)/通学も可
 - 受験資格:満27歳未満(令和7年4月1日現在)/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
 - 試験日:令和8年2月15日(日)●願書受付:令和8年1月6日(火)~1月23日(金)消印有効
 - オープンキャンパス随時開催中求
- JAグループ職員養成校



一般財団法人
北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町 43-1
☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索

令和8年4月1日より

組合員の皆様へ

始まります

みんながトクする

JAでんき

今なら

ご契約1契約につき

2027年3月31日まで

その1

基本料金3ヶ月無料※

その2

商品券
伊達市農協
商品券
3,000円分

または

コストコ Tissue
バスティッシュ
トイレットペーパー
ダブル2枚重ね

プレゼント!

※高圧・特別高圧契約、従量電灯A・定額電灯・公営施設用、農業用電力・臨時電力低圧反響は対象外になります。



JAでんき

とは?

組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気のメニューです。

切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

JAグループだから……

簡単!

安心!

安い!

お申し込み・ご相談は、くみあいマーケット本店へ。
おトクな料金メニューをご紹介します。

低圧電力(三相200V)がおトク

北海道電力(※1)様

従量料金
28.95円/kWh

基本料金
1,413.06円/kW

JAでんき

28.95円/kWh

1,048.19円/kW

契約容量8kWで

年間35,000円お得!

※燃料調整額、再生可能エネルギー発電促進賦課金は北海道電力(※1)低圧電力と同じ単価です。※料金単価は、北海道電力は2025年10月時点、JAでんきは2025年12月時点の単価を適用しています。

詳しくはこちらから!

<https://denki.e-yuki.com>



私たちが寄り添えることを、もっと。

JA共済 × 全農 × JAバンク

今回のテーマ

カーライフ

家計を助ける
“2つのアクション”

ナビゲーター
阿部祐二さん



アクション
1

ガソリン代10%オフと同等の効果!
地球とお財布に優しいエコドライブ

価格高騰が続く「ガソリン」。出費を抑えたいけれど、買い物、お出かけ、仕事など、生活に車は欠かせない…。そんなジレンマを抱える今こそ、「エコドライブ」を始めてみませんか? エコドライブとは、地球環境に配慮した運転方法や心がけのこと。車間距離にゆとりを持つて加速・減速の少ない運転を行うなど、誰でも日常的にできるアクションが、CO₂排出量削減による地球温暖化対策や、交通事故防止だけでなく、必要以上の燃料消費を抑えて、ガソリン代節約にもつながります。

エコドライブを行うと、燃費は平均で約10%も向上。これをガソリン代に置き換えると、1ℓ184円を166円で買うことと同じ*になり、割安のガソリンスタンドを探し回るよりも簡単な節約術と言えます。運転後に車載の燃費計などで燃費を確認すると効果を実感できるため、習慣化につながりやすくなります。

また、10%の節約アクションとして、定期的な自動車共済保険の見直しもおすすです。運転者の年齢や誰が運転するかなど現状に合った契約内容にすることで、共済保険料を減らせるケースもあります。これからのカーライフを楽しむために、まずは無理なくできる節約を積み重ねてみませんか。

※令和7年3月現在の価格・燃費の算出

ガソリン代の節約に!

燃費が良くなる エコドライブ

発進時/ふんわりアクセル

最初の5秒で時速約20kmを目安に、
穏やかにアクセルを踏む。

燃費10%
改善



減速時/早めのアクセル オフ

信号など停止の準備をはじめる際、早めに
アクセルから足を離してエンジンブレーキ
を使う。

燃費2%
改善



ポイント

「車間距離不足」で燃費が悪化!

車間距離が近いと無駄な加速・減速が多くなり、市街地では約2%、郊外では約6%も燃費が悪化します。ゆとりのある車間距離を保ち、できるだけ一定の速度で走りましょう。

日常的に仕事現場まで
長距離運転をするので
ガソリン代が
ばかになりません…。
運転の見直しで
燃費が良くなるのは
うれしいですね!

[出典]
環境省「デコ活」サイトを
もとにJA共済連作成

【自動車共済・保険のチェックポイント】

- ☐ 運転される方の年齢条件*は合っていますか？
*記名被共済者またはその配偶者（内縁および同性パートナーを含む）、同居の親族等が運転していた場合のみ年齢条件を適用します。
- ☐ ご家族で2台以上のお車を所有していませんか？
- ☐ 運転されるのはご家族*だけですか？
*ご家族とは、記名被共済者またはその配偶者（内縁および同性パートナーを含む）、同居の親族および別居の未婚の子（養子を含む）をいいます。
- ☐ 農業用貨物自動車を所有されていますか？
- ☐ 自賠責共済・保険と自動車共済・保険の加入先は別々ですか？



自動車共済・保険を見直すと、今必要な保障を準備できるだけでなく、家計にも役立つのはうれしいですね。

保障やサービス、
お得な「掛金割引」も充実！



- ☒ ひとつでも当てはまる方はJAの自動車共済で共済掛金がお得になる可能性があります！

今なら！

JAの自動車共済のお見積りをいただくと
抽選で総計1,000名様に
素敵な賞品が当たる！

さらに！
自動車共済・保険証券を
スマホで読み取ると当選確率**5倍！**

アクション
2

今の自動車共済・保険、最適ですか？
自動車共済・保険の見直しで固定費を節約

マイカーといっしょに、たのしい暮らし。

JAのマイカーローン

アクション
3

新しく車の購入をご検討されている方へ。
家計を助けるマイカーローン選び

私たちが寄り添えることを、もっと。— JA共済×全農×JAバンク —

未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.99

令和7年度第3回関内東地区換地委員会を開催

12月9日(火)に第3回関内東地区換地委員会を開催しました。
今回の委員会では、「換地清算金算定基準」および「従前地の土地評価」の議案について審議を行いました。
換地清算金算定基準については、区画整理事業における従前地と換地後の土地の評価額の差を調整するための算定方法等に関し、事務局より説明を行いました。
従前地の土地評価については、今年度の換地委員会で決定した土地評価基準に基づき、事務局が作成した評価結果資料を回付し、会議出席の委員全員に確認いただきました。
次年度は、換地計画原案を策定するため、引き続き委員会を開催します。
換地委員会の審議・決定につきましては、伊達市のホームページに掲載していますのでご確認ください。
伊達市のホームページ⇒「市民協働」⇒「審議会」⇒「換地委員会」でご覧になれます。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期成会事務局
(伊達市 経済環境部 農地整備課内) TEL0142-82-6161 (直通)

令和7年度 年始営業日程

令和8年1月1日(木)～令和8年1月6日(火)

		1/ 1(木)	1/ 2(金)	1/ 3(土)	1/ 4(日)	1/ 5(月)	1/ 6(火)	
本所 登録支所	金融	×	×	×	×	○		全 業 務 平 常 営 業
	ATM	×	×	×	×	8:45～ 17:00		
	ATM	×	×	×	×	×		
	クミカン 窓 口	×	×	×	×	×		
	グリーン センター	×	×	×	×	×		
	機 械 センター	×	×	×	×	×		
	マーケット	×	×	9:30～ 17:00		9:30～ 19:00		
	授 精 生乳検査	○	○	○	○	○		

地区別組合員懇談会日程

令和8年1月13日(火)～16日(金)

日 時	地 区	会 場
13(火)	10:00 黄金・室蘭地区	はまなす館
	13:30 東地区	みらい館
14(水)	10:00 稀府地区	中稀府会館
	14:00 登別地区	登別支所 2F
15(木)	10:00 中央地区	本事務所 2F
	13:30 長和地区	ふれあい館
16(金)	10:00 有珠地区	白鳥館
	13:30 関内地区	関内福社会館



ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

